

ファカルティ・ディベロップメント（F D）委員会

「ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会」

1. 構成員

1) 委員

正木治恵（委員長、千葉大学）、
松谷美和子（聖路加看護大学）、宮本千津子（東京医療保健大学）、村上明美（神奈川県立保健福祉大学）、小川妙子（群馬県立県民健康科学大学）、佐伯由香（筑波大学）、鈴木久美（兵庫医療大学）、山口桂子（愛知県立大学）、和住淑子（千葉大学）

2) 協力者

林優子（大阪医科大学看護学部設置準備室）

2. 趣旨

看護系大学におけるFD活動を推進することを目的とし、本年度は以下の活動計画をたてた。

- 1) FDが大学および大学院において義務化されている現状において、看護系大学協議会としてのFD活動のあり方について検討する。
- 2) 1) の検討に基づき、FD委員会としての具体的活動（パネルディスカッション等）を行う。
- 3) その他、看護系大学の教育の質向上に関する事項について検討する。

3. 活動経過

（1）FD企画者向けの研修会・パネルディスカッションの企画

FDが既に大学および大学院において義務化され、各大学のFD活動も活発に実施され始めている現状から、今後各大学がFD活動を独自に企画・実施していく上で役立つような、FD企画者向けの研修会・パネルディスカッションを計画した。FD企画者向けの研修会には、各大学が大学の個性を生かしつつ計画的にFDを実施していく際参考となるであろうFDマップの作成について取り上げた。またパネルディスカッションでは、看護系大学から、看護学教育・研究の特徴を踏まえたFD活動内容について、精力的に取り組んでいる看護学教員から紹介頂き、今後のあり方も含めて検討することにした。

講師等の都合により開催日は次年度送りとなった。具体的な内容は以下の通りである。

①日時：2010年4月17日（土）13:30～16:00

②場所：聖路加看護大学アリスセントジョンメモリアルホール

③対象：各看護系大学（会員校）のFD企画者

④内容：

講演「FDマップの作成と活用」；佐藤浩章氏（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室副室長）

パネルディスカッション「看護学教育・研究に関するFDの取り組みの実際」；

山口桂子氏（愛知県立大学教授）、村本淳子氏（三重県立看護大学学長）、佐藤禮子氏（兵庫医療大学副学長）

座長；松谷美和子氏（聖路加看護大学教授）

（２）「若手看護学教員に求められる臨地実習の教育能力獲得状況と支援に関する実態とFD活動の方向性」についての調査

【主旨】

看護の臨地実習の場はめまぐるしく変化する不確定な状況であり、また、機会を逃すと学生の学習ができなくなるという再生不可能な特性を併せ持つ。そのため、教員にとっては学内の授業とは異なり、事前に準備した実習指導案が活用できないことも多く、その場での判断や対応を余儀なくされる。

若手看護学教員(以下、若手教員とする)は、看護者としての自身の経験が浅いことに加え、臨地実習指導の経験も少ないことが多い。それゆえ、常に緊張して教育に当たっており、その場での瞬時の判断や対応に戸惑いをおぼえていると考えられる。

本年2月、厚生労働省医政局看護課は「今後の看護教員のあり方に関する検討会報告書」を公表し、その中で看護教員に求められる資質・能力として「教育実践能力」、「コミュニケーション能力」、「看護実践能力」、「マネジメント能力」、「研究能力」の5点をあげたが、現行制度においては、若手教員が教員としての道を歩み始めるまでにこのような能力を身につける学習機会を持てることはまれであり、その能力の研鑽は就職後の現任教育にゆだねられている。

一方、大学におけるFD活動が義務づけられ、さまざまな教育実践力の向上のための研修や組織的な取組が実施されるようになったが、上述するような教育上の特性をもつ実習教育に関するFDの実施については、必ずしも容易ではない。

そこで、本委員会では、看護系大学におけるFD活動のための基礎的資料を収集し、そのニーズや方向性を明らかにする目的で調査を実施し、若手教員の自己評価からみる教育実践力の獲得状況とFDへのニーズ、支援方法等について分析・検討する。

以下にその概要を示す。

【目的】

- ①若手教員が求められる教育実践上の資質・能力について、各教員の自己評価から獲得状況実態を知るとともに、FD活動へのニーズや支援等に関わる認識を明らかにする。
- ②上記結果からみる課題とFD活動への具体的ニーズなどから、FD活動計画や実施についての今後の方向性を明らかにする。

【方法】

調査方法 自記式無記名式質問紙調査法

調査期間 2010 年 6 月～7 月

調査対象 日本看護系大学協議会に加盟する看護系大学の看護教員のうち、教員経験歴
1 年以上 5 年未満の教員：各大学から 10 名程度

調査内容 看護教員に求められる資質・能力に関する項目、向上すべき資質に関する項目
看護教員の要件に関する項目
看護教員の継続教育に関する項目
FD活動に対するニーズと課題に関する項目
個人属性・所属施設の属性など

4. 今後の課題

前述した2つの活動については、次年度に実施することになっており、共に成果をまとめ、公表する予定である。